

木津川上流部の取組方針更新に関する 意見照会結果

木津川上流部の取組方針に関して、既往取組の取捨選択や追加取組案に対するご意見及び、取組の実施有無について確認させていただきました。本資料では、取組方針の更新においていただいたご意見をどのように反映したかを示します。

取組方針の更新について

➤ 各機関からの回答を基に、下記に示すSTEP 1～3の順に取組項目を整理し、次期5ヶ年における取組方針の更新案を作成致しました。

【STEP1】取組項目の取捨選択

■ 現取組項目を **削除**・**統合**・**継続**・**完了** に分類



取組機関がない項目や、全国
の取組であり木津川上流部の
取組方針として記載する必要
はない項目



継続的に実施すべき項目や
実施予定の項目



管理区間によって分けて表記
していた項目、内容が重複し
ている項目



実施済み項目

【STEP2】取組項目の清書及び追加

■ STEP1の分類をもとに清書



⇒削除or統合



⇒継続記載



⇒灰色塗りつぶし

取組の進捗を確認するExcel表では
今後非表示にする予定です。

■ 各市町村の**国土強靱化地域計画**、各機関の**流域治水対策**をもとに
現取組項目に不足する下記内容を**追加**（ピンク塗りつぶし）

【STEP3】取組項目の並び替え

■ 各事項内の優先順位に着目して、取組項目を並び替え

**STEP3が次期取組方針案
になります。ご確認のほど
よろしくお願い致します。**

ご意見への対応① ～ハード対策について～

STEP3 整理番号3

ハード対策：①洪水を河川内で安全に流す対策に関する事項

更新前	更新後
●川上ダムの建設	●川上ダムの建設及び管理

アンケートで得られたご意見

- ✓ R4年度までは建設なので「継続実施◎」が良いが、R5年度からは管理に移行するため、完了で「実施済み●」と考えて良いか。（木津川ダム総合管理所）
- ✓ 次年度に完成が予定されており、記載しなくても良いのではないか。（名張市）

対応

◎「川上ダムの建設」ではなく「川上ダムの建設及び管理」と表現することで、流域内におけるダムの活用を示した。

STEP3 整理番号9

ハード対策：③内水対策に関する事項

更新前	更新後
●雨水排水施設や下水管きよを活用した内水排除等の整備	●雨水排水施設や雨水管きよ・下水管きよを活用した内水排除等の整備

アンケートで得られたご意見

- ✓ 「雨水管きよの整備」を追加項目として提案（伊賀市）

対応

◎「雨水排水施設や下水管きよを活用した内水排除等の整備」という項目に「雨水管きよ」を追記した。

ご意見への対応② ～ソフト対策について～

STEP1 整理番号16

ソフト対策：逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

①情報伝達、避難計画等に関する事項

- 参加市町村による広域避難計画の策定を行う。⇒次期取組方針では削除 **【変更なし】**

アンケートで得られたご意見

- ✓ 広域避難の必要性がないと判断してから削除したほうがよい。（名張市）

対応

- 広域避難の必要性は確定ではないため、次期取組方針から「参加市町村による広域避難計画の策定」は削除する。
- ただし、今後の幹事会・協議会にて、木津川上流部における避難のあり方について議論をした結果、市町村界を超える広域避難が必要と判断された場合は、「参加市町村による広域避難計画の策定」という取組項目を再度掲載する。

STEP3 整理番号21

ソフト対策：逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

②平時からの住民への周知・教育・訓練に関する事項

- 内水ハザードマップの策定・周知 **【追記】**

アンケートで得られたご意見

- ✓ 「洪水ハザードマップの策定・周知」に加え、「内水ハザードマップの策定・周知」を追加項目として提案（伊賀市）

対応

- 「洪水ハザードマップの策定・周知」の優先度が高いため、別項目として「内水ハザードマップの策定・周知」を追加した。
- 取組機関は、各市町村に「実施予定○」を事務局案として記入した。進捗が整合しているか確認したい。

ご意見への対応③ ～ソフト対策、全体について～

STEP1 整理番号63

ソフト対策：逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

⑦ハザードマップの作成周知等に関する事項

- 避難場所並びに避難経路の指定更新及び周知

【**項目の場所を ③円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する事項 に移動**】

アンケートで得られたご意見

- ✓ 別項目と統合した結果、【⑦ハザードマップの作成周知等に関する事項】が63番しか残っておらず、どこかに移動した方が見栄えとして良いのではないか。（奈良県）

対応

- ◎【③円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する事項】に移動した。

全体に対して

アンケートで得られたご意見

- ✓ 各種取組の統合について、合理的に統合していくのは望ましいが、表現はどのようになるのか教えていただきたい。表現があいまいになると取組の内容を把握しづらくなると考えます。（名張市）

対応

- ◎**取組を統合する場合は、取組内容が分かるようにキーワードをカッコ書き**として残した。
（STEP2の整理番号2、11、27、35、37、59）

アンケートで得られたご意見

- ✓ STEP1整理番号21にて、備考欄に「23と同様の内容のため統合」と記載があるが、整理番号23では「34と同様の内容のため統合」と記載があるため、整理番号21も34と統合される理解でよいか。（木津川ダム総合管理所）

対応

- ◎STEP1にて「統合」と分類されている取組について、**統合先の整理番号を統一**した。

削除した項目（記載した番号はSTEP1の整理番号）

■主に実施済みのため削除

1	大規模氾濫減災協議会等の設置（協議会の構成員に市町村の高齢者福祉部局を追加）
---	--

■検討は目標ではないため削除

19	地区別の発令情報、及び発令基準等の検討
----	---------------------

■全国的な取組であり、実施済みの機関も多いことから削除

24 56	避難計画作成の支援ツールの充実 （想定最大規模降雨に対応した洪水浸水想定区域図に合わせ浸水ナビに順次実装）
26	想定最大外力を対象とした氾濫シミュレーションの公表を行う
28 61	ハザードマップポータルサイトにおける水害リスク情報の充実 （浸水想定区域（想定最大規模、内水浸水想定区域等）を掲載）

■対象機関がないため削除

44	豪雨等災害情報を市町村へよりわかりやすく伝えるため、電光表示板を用いた文字表示による情報提供を行う
51	タイムラインの作成及び更新の支援
86 100	大規模工場等へ浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動を行う
118	「地域防災マップづくりワークショップ」に対する支援

■その他

- ・避難のあり方について、参加市町村との意見交換が必要。今後実施予定の意見交換により、広域避難が必要であれば取組項目として再度掲示。

16	参加市町村による広域避難計画の策定を行う
59	広域避難に向けた調整及び検討
60	広域避難を考慮したハザードマップへの更新・周知

追加した項目（記載した番号はSTEP2の整理番号）

■ 流域治水対策メニューより追加

3	川上ダムの建設及び管理
5	河川管理施設、砂防施設の長寿命化
12	調整池の整備（田んぼダムの整備、ため池の治水利用）
13	森林の整備・保全
19	想定最大外力を対象とした洪水浸水想定区域図及び家屋倒壊等氾濫想定区域図の策定・公表 （水害リスク情報の空白域の解消） ※カッコ書きを追記

■ 市町村の国土強靱化地域計画を基に追加

18	避難所における感染症対策
26	避難行動要支援者の避難支援体制の整備
43	復旧・復興を支える人材や資機材の確保

■ 意見照会で寄せられた意見を基に追加

9	雨水排水施設や雨水管きよ・下水管きよを活用した内水排除等の整備 ※意見照会で寄せられた意見を基に「雨水管きよ」を追記
21	内水ハザードマップの策定・周知

統合した項目①（記載した番号はSTEP1・2の整理番号）

■ 取組項目を統合してキーワードを追加した箇所は赤字表記

統合前 STEP1	統合後 STEP2	主な内容
4⇒3に統合	3	河道内樹木の伐採や堆積土砂の除去等 (多数の家屋や重要施設等の浸水が想定される区間の保全対策)
91,96,98,99⇒11に統合	11	排水施設の整備及び耐水化、庁舎の耐水対策
14⇒12に統合	49	砂防堰堤の補修及び砂防堰堤の設置
47⇒15に統合	14	避難勧告に着目したタイムラインを策定（あわせて県～市間のホットラインを構築）
48,49⇒17に統合	16	避難情報の発令基準の見直し
50,52,53⇒22に統合	17	多機関連携型タイムラインの拡充（公共交通機関も参画したタイムライン策定）
54⇒25に統合	19	想定最大外力を対象とした洪水浸水想定区域図及び家屋倒壊等氾濫想定区域図の策定・公表（水害リスク情報の空白域の解消）
57⇒27に統合	20	洪水ハザードマップの策定・周知
62⇒30に統合	23	まるごとまちごとハザードマップを整備
33,58,68,69⇒31に統合	24	小中学校における水災害教育を実施
20,66,67⇒32に統合	25	要配慮者利用施設における避難計画の策定及び訓練の促進
21,23,55,73⇒34に統合	27	ダム防災操作や放流連絡体制の周知 (地域住民へ避難の必要性やダム警報局スピーカーの周知)
64⇒35に統合	28	避難が困難な地域や住民が逃げ遅れた場合等の応急的な避難場所の確保（防災ステーション、防災拠点の整備）
65⇒36に統合	29	住民一人一人のマイタイムライン、マイ防災マップの作成促進

統合した項目②（記載した番号はSTEP1・2の整理番号）

■ 取組項目を統合してキーワードを追加した箇所は赤字表記

統合前 STEP1	統合後 STEP2	主な内容
70⇒37に統合	30	住民参加型の避難訓練の実施状況、今後の予定等の共有
71⇒38,110に統合	31	防災リーダー育成の支援を実施
	57	地区防災計画（自治会単位）の作成
77⇒43に統合	35	緊急放送をよりわかりやすく伝えるため、放送のあり方等の検討（危険度の色分け表示）
10,13,42,72,74～ 76,78,79⇒46に統合	37	降雨予測や避難情報の提供の強化、洪水予測や水位情報の提供の強化 （危機管理型水位計や量水標等の設置、河川監視用カメラの配置、浸水や停電の恐れのある観測所において、浸水・停電対策を実施、ダム放流設備の耐水化）
88,89⇒80に統合	38	水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練を実施
93⇒81に統合	39	毎年、水防団や地域住民が参加し重要水防箇所等水害リスクの高い箇所の共同点検を実施
90⇒83に統合	41	毎年、関係機関が連携した実働水防訓練を実施
87⇒85に統合	42	水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進
92⇒97に統合	46	水災害のBCP（事業継続計画）を作成
113,115～117⇒112 に統合	59	避難情報を対象者へ確実に届けるための災害情報の充実と整理（災害予測手法・システムの整備、警戒レベルや危険度分布の表示等）